

みやぎ観光回復戦略会議(抜粋)

仙台圏域 (仙台市, 塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 富谷市, 亶理町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 大衡村)

圏域の観光の現状

- 感染症の影響で観光客・宿泊客が激減し、宿泊業・飲食業など、幅広い業種で売り上げが減少している。
- 6月頃から人出が戻りつつあるが、平年並みまでは回復していない。
- 関東圏、関西圏の大都市の市場は魅力的だが、そこから東北に来るまで時間がかかる。
- 家族、子供連れのお客様はまだ不安があるため、宿泊客はビジネス層に集中すると思われる。
- インバウンドや若い世代はネット環境を重要視し、SNSを積極的に活用している。

圏域の観光の課題

- 首都圏や関西圏、海外からの誘客は当面見込めず、圏域内・県内、東北での流動を促す必要がある。
- 県内での人の流動が大事であり、そのためには県民の気持ち（シビックプライド）の醸成が重要である。
- ビジネス客やインバウンド、若い世代への対応として、デジタル技術の活用が必須になってくる。
- 新たな需要に対応した観光を推進する必要がある。

圏域の施策の方向性及び取組

(1) マイクロツーリズムなどの域内流動の促進

- 圏域内の地域ごとに対象を絞った誘客促進の取組 (R2: 黒川地域) 【短期】
- 宮城-山形間の相互交流を促進する取組 【短期】
- デジタルスタンプラリー (周遊型・在宅型) により誘客を促進する取組 【短期】
- 公共施設等の無料化により冬季の街歩きを促進する取組 【短期】

(2) 地域の魅力に対するシビックプライドの醸成

- 東北DCに向けて圏域内の観光素材を発掘し、磨き上げる取組 【短期】
- 県内外住民から観光素材を募集し、その魅力を発信する取組 【短期】

(3) ビジネスモデルの転換に対応した新たな観光の推進

- 宿泊施設の活用を促進する地域観光グループの形成・展開を支援する取組 【短・中長期】
- Wi-Fi・5Gの環境整備を支援する取組 【短・中長期】



仙台北城跡 (仙台市)



五大堂 (松島町)



鹽竈神社 (塩竈市)